



所沢ニュータウン
自治会報
(一般住宅)
第202号
令和7年2月12日
発行責任者 池原憲二
所沢市中新井4-38-4
編集責任者 中村立美

第36回 並木地区新年祝賀会



小野塚市長の挨拶



並木自治連合会の各自治会長の紹介

1月12日(日)、並木まちづくりセンターの多目的ホールで、並木自治連合会主催の新年祝賀会が開催されました。ニュータウン自治会からは池原会長をはじめ6名が出席しました。最初に、並木自治連合会会長廣川隆通氏の主催者挨拶、次に小野塚勝俊所沢市長の挨拶、所沢警察署渡部久一郎氏および柴山昌彦衆議院議員の来賓挨拶がありました。挨拶の中では、並木地区の自治会が地域と連携して積極的に活動しており、周囲から高く評価されていること、2月8日に開催される所沢市自治連合会の活動報告会、当自治会の活動状況を池原会長が発表する予定であること等が紹介されました。一方で、並木地区は所沢市で最も高齢化が進ん

2月8日(日)、並木地区青少年を守る会連合会主催の子ども音楽祭が並木まちづくりセンターの多目的ホールで開催されました。主催者と来賓から「今日は音楽を沢山楽しんで下さい」との挨拶があり、中央中学校吹奏楽部の演奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。

第24回 並木地区子ども音楽祭

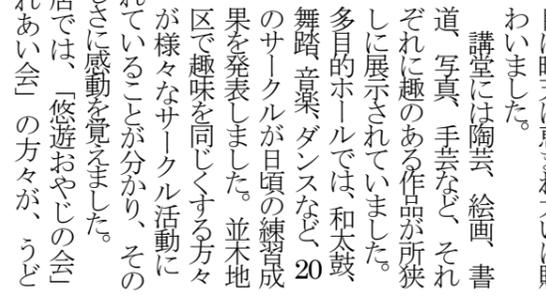


並木地区子ども音楽祭の様子

2月8日(日)、並木地区青少年を守る会連合会主催の子ども音楽祭が並木まちづくりセンターの多目的ホールで開催されました。主催者と来賓から「今日は音楽を沢山楽しんで下さい」との挨拶があり、中央中学校吹奏楽部の演奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。その後、ピアノ奏で音楽祭が始まりました。

次に来賓の県議会議員、市議会議員、小中学校の校長先生、包括支援センターの方々から挨拶がありました。乾杯の後に会食となり、そこでは地区内の各自治会長、団体代表者の挨拶が続きました。最後に、並木自治連合会事務局長(増田ニュータウン自治会副会長)の手締めで、新年を祝って閉会しました。

第7回 並木地区文化祭



並木地区文化祭の様子

1月2日(土)3日(日)の2日間にわたり、並木まちづくりセンターで並木地区文化祭実行委員会、並木まちづくりセンターが主催する第7回並木地区文化祭が開催されました。初日は生憎雨模様でしたが、2日は晴天に恵まれ大いに賑わいました。講堂には陶芸、絵画、書道、写真、手芸など、それぞれに趣のある作品が所狭しに展示されていました。多目的ホールでは、和太鼓、舞踏、音楽、ダンスなど、20のサークルが日頃の練習成果を発表しました。並木地区で趣味を同じくする方々が様々なサークル活動に参加されていることが分かり、その素晴らしさに感動を覚えました。模擬店では、「悠遊おやしの会」や「ふれあい会」の方々が、うど

で、晴天に恵まれて、紅葉と相俟って、楽しい旅行となりました。バスに乗り込むと、すぐにお菓子とお茶が配られ、早くも遠足気分です。発車して暫くするとダムへの解説がありました。建設計画の歴史、地元住民や環境、財政などへの影響と解決への取組み、ダムの構造や能力などが出来て、単なる観光でないのでこのバス旅行の大きな魅力だと感じました。

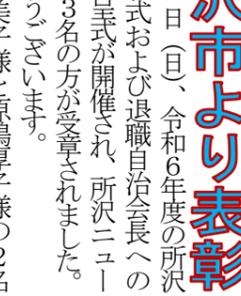


並木地区文化祭の様子

客席には、家族の方も沢山いらつしゃって、演奏が終わる度に客席から拍手が沸き上がりました。音楽を聴いていると心が癒され、平和な環境で音楽に触れる機会に恵まれていることを大変幸せに思いました。

おにぎり、喫茶店などを開いて、大活躍されました。また、ウクライナから避難されている方による自国の家庭料理の提供や雑貨のチャリティバザーもありました。さらさら児童館ではボール・アート、スポーツ・ボール、ヨーヨー釣り、輪投げ、謎解きイベントなど、子供さんが楽しめるイベントやワークショップが開催されました。中央高校の生徒さんは子供さん向けのイベントを楽しそうにお手伝いしていました。並木地区にお住いの方々が楽しく交流され、その活動を大勢の方が支えて下さっていて、幾重にも重なる人の輪が感じられる楽しい文化祭でした。

所沢市より表彰



所沢市表彰式の様子

1月10日(日)、令和6年度の所沢市の表彰式および退職自治会長への感謝状贈呈式が開催され、所沢ニュータウンの3名の方が受賞されました。おめでとうございます。加藤久美子様と原嶋厚子様の2名は、永年にわたり、民生委員・児童委員として地域福祉の向上に寄与され、その功績が特に優れているとして、表彰状が授与されました。増田毅副会長は、永年にわたり、ニュータウン自治会会長として地

第78回 「所沢市二十歳のつどい」

今年から会場を美原中学校そばの公民館へ変更

1月13日(月) 新所沢東公民館のホールで式典が開催されました。二十歳を迎えられた皆様、おめでとうございます。今年度から、会場の割振りが変わりました。行政区域から中学校区割りに変わりました。より多くの同窓生が再会できるようにとの配慮がそうです。ニュータウン在住の方の会場は、美原中学校がある新所沢東地区に変わりました。

秋のバス旅行に同行「ハッ場ダム見学」



バス旅行参加の皆さん

1月18日(月)、ふれあい会が主催する「秋のレクリエーションバス旅行」に同行させていただきました。行先はハッ場(やんば)ダム。開式の言葉に始まり、所沢市代表の式辞、来賓の美原中学校校長先生の祝辞などが続き、新二十歳の方から二十歳代表のスピーチ、未来に向かっての抱負が述べられました。その後「二十歳のつどい」に移り、抽選会が行われました。5年ぶりの再会を喜び、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

美原中学校 創立五十周年

美原中学校は創立50周年を迎え、11月5日(火)に記念式典が挙行政長が参列しました。式典会場の上手、来賓席側には美術部の絵画が掲げられていました。美術部は美原祭などの行事にメッセージを伝える作品を制作し、展示しているそうです。今回の作品は美術部1年生の岸田さんの発案によるものだそうで、美原中学校の学校だより8号の校長見聞録に、岸田さんのこの作品への想いが掲載されていました。その内容が素晴らしいので、要約して紹介

します。「50年の長い時のつながりを思い浮かべて、『春夏秋冬』こそ、ふさわしいと思う、大きな画面を4つの差込む光の筋のように分けて、左から季節の情景とその校舎を構図にしました。暖かな春の光を受けて咲き乱れる花々、夏のしたたかな甘い雨を浴びて青色を染めた樹、寂しくも日は早々に沈み、目に映るいつか見た夢のような秋の遠い空、厳しい冬の寒さを越え、次の春たちを迎えるため、生き残る者たちが尽くす力。それらは私たち生徒の身心が成長し、未来に向かって羽を広げ、次の世代へと繋いできた歴史と重ねられると思います。そして私たちの愛する美原の校舎こそが、この美しい時の流れを映し出し、刻み込んでいくと私は思います。」



美原中学校の50周年記念作品

吉田校長先生は、1年生の生徒が美原中学校をこのように捉えていることを知り、そのような感性に触れたことに大きな幸せを感じたと記されています。

